

北川かっぱの会

2023年 3月18日

vol. 145

発行 北川かっぱの会

<http://kitagawakappanokai.la.coccan.jp/>

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

ここんとこ
急に春だよ号

3/25(土)かっぱの会の総会開きます



わんぱく夏まつりで捕まった外来種たち

アカミミガメ・アメリカザリガニが 特定外来生物に！

北山公園には外来種のアカミミガメとアメリカザリガニが生息しています。アカミミガメは全国各地に定着し、日光浴の場所や食物などをめぐって在来カメ類との間で競合が生じ、在来カメ類に影響を及ぼします。また、食性が多岐にわたるため、在来生物群集に大きな影響を与えると考えられています。アメリカザリガニは日本全国に広く定着し、水生植物を消失させたり水生昆虫の局所的な絶滅を引き起こしています。また、ザリガニペストや白斑病などを保菌し、ニホンザリガニを含む在来甲殻類に大きな影響を与える可能性があります。

このようなことからアカミミガメ、アメリカザリガニは、2023年6月1日より「条件付特定外来生物」に指定されます。「条件付特定外来生物」は、外来生物法により指定された特定外来生物のうち、規制の一部がかからない生物です。アカミミガメもアメリカザリガニもいったん飼育はじめたら、野外に放すことは法律で禁止されま（次ページへ）

す。野外で捕まえたものを安易に持ち帰ることのないようにしましょう。しかし、一般家庭でペットとして飼育しているアカミミガメ（写真上）・アメリカザリガニ（写真中）は、これまで通り飼うことができます。飼い続けることができなくなった場合は、友人・知人・団体等責任をもって飼える方に譲渡を行う必要があります。



北山公園や八国山にはこの他にも特定外来生物の侵入が目立ちます。鳥類はガビチョウ（写真中）、ソウシチョウ、昆虫類はアカボシゴマダラ、両生類はウシガエル（写真下）、魚類はオオクチバス、植物はオオフサモなどです。オオクチバスだけはかっぱの会などの努力により見るのがほとんどなくなりましたが、その他の特定外来生物はその場所に元々生息している在来生物を捕食したり、生息場所を奪ったりして生態系に悪影響を与えてしまうことが懸念されています。



国による特定外来生物被害防止基本方針では、被害を及ぼしていたり、及ぼすおそれがある特定外来生物については、必要に応じて防除を実施することとされています。そして、地域の生態系等に生ずる被害を防止する観点から、地域の事情に精通している地方公共団体や民間団体等が行う防除も重要であり、積極的な推進が期待されています。そのためかっぱの会では、引き続き特定外来生物の駆除に努めていきます。



（ビー永島）

報告 高校生「夏まつりのボランティア体験」を 発表！ @川でつながる発表会

2月26日（日）新河岸川川づくり連絡会主催の「川でつながる発表会」が開催となり、北川かっぱの会の関係者（高校生2名）が、「北山わんぱく夏まつりでのボランティア体験」を発表しました。Aさんからは、北川

かっぱの会の活動状況や北山わんぱく夏まつりの盛況な状況の報告があり、Uさんからはボランティアの体験が契機となり中高校生に実施した、幼児期の自然体験の有無や体験の具体的内容、現在の環境問題や外来種問題への関心を問う調査結果とその考察結果の報告がありました。2人のわかりやすい発表は、参加者の共感を呼び込み、コメンテーターからは、北川かっぱの会の歴史的に見た重要性を、引き継いでいってほしいなど、激励の言葉をいただきました。

私は長年北川わんぱく夏まつりの北川水族館のボランティアスタッフをしています。昨年8月は地元の高校生や大学生の参加があったことで、久々に若返り、活気のある場となりました。それが、約半年を経て、このような発表の機会をいただいたと聞き、赤羽岩淵まで応援に駆け付けたのですが、沢山の大人たちの前で若い二人のがんばりを見、誇らしい思いでした。いっしょに参加した3人のかっぱメンバーも同じ思いだったに違いありません。自分たちのボランティアした企画がどういう目的をもっていたかを理解し、これからの世代にどういう影響があるか明らかにしようとした研究はとても大事な視点です。若い人たちに学ばされた思いでした。そして、土曜講座などで出会った小学生が大きくなってボランティアで活躍してくれる、そうやって世代をつないでいくことが今回実現できたことが一番うれしかったです。今年の8月の夏まつりもいっしょに創っていけたらと今から楽しみです。

(×●>・<●) ♡♡ (久)

発表者のコメント

多くの川関係者の方々の前で発表するのは少し緊張したけど北川かっぱの会の活動について今までよりも知ってもらえたと思います(Aさん)。

川で繋がる発表会での交流を通して、川を大切に思う方々の話を聞きました。北川だけでなく、新河岸川という大きな川の流れて色々な箇所で見守られているからこそ、今日も綺麗な水が流れているのだと感じました(Uさん)。



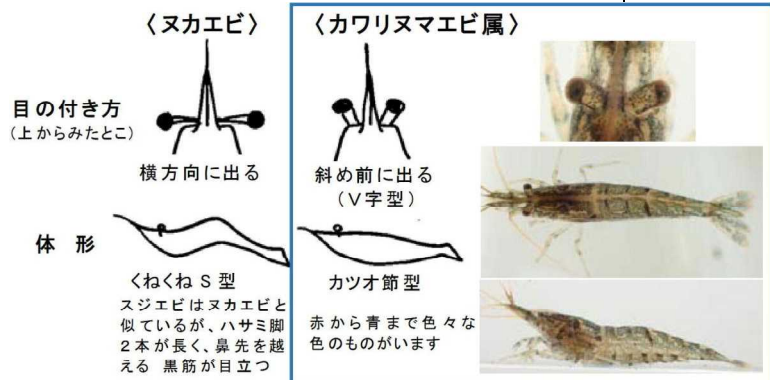
かつぱの楽校 生き物講座 第115回 北川で捕れるエビは？…

3月始めに、思い立って北川に棲むエビ類の種類を再確認しようと、数か月ぶりに手網を持って出かけました。狭山公園下から前川合流点まで、上～下流の3カ所で採捕してみた結果は、スジエビとアメリカザリガニが数匹づつ、他はすべてカワリヌマエビ属でした。

カワリヌマエビ属というのは、西日本在来種(東日本では国内外来種)のミナミヌマエビも含まれますが、大陸由来のシナヌマエビなどの近縁の外来種が入り混じってしまってもう訳が分からん？仲間です。元々は草食性かわれて「水槽のそうじやさん」として売られていたもの達が各地に広がり、特に東日本では、近縁の在来種であるヌカエビにとって代わるような状況もあって問題視されています。

北川では、2017年から「カワリヌマエビ類」として記録されていますが、2006以降、「ミナミヌマエビ」や「ヌマエビ類」としたのも同じものであった可能性があります。

北川もヌカエビの分布域であったはずですが、既に征服された？… 皆さんもエビを捕ったら確認してみてください。〈康〉 その見分け方は…



予告 総会を開催します

3月25日(土) 15時40分より、中央公民館(東村山駅東口徒歩2分)の第2集会室で総会を開催します。総会では2022年の活動総括と決算、2023年度の活動方針と予算などについて討議します。なお、議案書案は3月19日頃までに、かつぱブログに掲載予定ですのでご覧ください。

2023年の活動方針では、特に以下の事項を中心に検討していく予定です。

- ①将来に向けて持続可能な活動を行っていくことを前提とした場合、各事業の見直しを行っていく必要がないかどうか、見直しを行っていくとすればどのような見直しを行っていくべきか(例; 支援者の拡大策、環境学習関係の活動、外来種の防除や川そうじ等の活動、北山田んぼなどの地域保全活動とのコラボ活動、かつぱ通信などの広報活動、…など)
- ②新規事業、特にトウキョウダルマガエル等の市民による個体数調査(5月末頃に実施)やチョウ類についての市民調査(初夏に実施)をどのように実施し、定着させていくか
- ③子育て層を中心に新規会員になりそうな人たちにどのように声がけしていくか

④個々のイベントなどで市や公園の指定管理者との協働や役割分担をどう行っていくのか。

「トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活」や「遊びの遺伝子を未来に継承」していくために、会員の皆様の参加をお待ちしております。

報告 野鳥観察会



2月4日(土)、北川かつぱの会の野鳥観察会が行われました。まだ肌寒い季節でしたが、大人8名の渋いメンバーで、和気藹々と楽しい観察会

となりました。

まずは北山公園の池で定番のマガモやカルガモの群れ、その中に1羽だけ紛れ込んでいるオオバンを見ていたら、樹木にはホオジロが来てくれました。幸先の良いスタートです。

今回私が見たかったのはイカルだったのですが、八国山の入り口付近で、見事に出てきてくれました。灰色の体に、頭・翼・尾に青みがかった美しい黒。がっちりとした黄色い嘴で、エノキなどの堅い木の実を砕いて食べるそうです。しばし、うっとり眺めました。

その他にも、メジロ、エナガ、カシラダカ、シジュウカラ、ツグミ、ハクセキレイ、シロハラなど、定番の鳥が次々と出てきて、嬉しい気持ちになりました。

フィールドスコープで、ドアップの顔を見ることができた鳥達もいます。アップの顔を見ると、「可愛いなあ」と思わずつぶやいてしまう方が多いようです。

観察の終わる頃には、なぜか心まで癒されているのが不思議です。これからも、楽しく鳥のことを学んでいこうと思いました。(藤)



報告 北山小4年生から 総合的学習の感想文が届きました

北川かっぱの会では今年度、北山小4年生の総合的学習を支援しました（6月に北川のゴミ拾い、7月に北川や北山公園内水路での魚とり、9月に北川や北山公園の外來種、11月に北山公園のいきもの）が、このほど児童全員からの感想文が当会に届きました。

それぞれの感想文には、「北川に意外と多くのゴミがあって驚いたこと、捨てられたゴミの環境への影響が心配されること」や「北川に多くの魚や北山公園に多くのエビ類がいることに驚いたこと、魚捕りをはじめて体験することができ面白かったこと」、「外來種の問題点がよくわかったこと、外來植物が生えて

いることをはじめて知ったこと」、「11月でも北山公園で多くのいきものがいることに驚いたこと、望遠鏡でアオサギを観察することができ楽しかったこと、アメリカザリガニやカマキリ、バッタなどを手でつかむことができるようになって嬉しかったこと」などの感想が寄せられました。

感想文からは、地域の自然や環境が大好きになった様子を感じられ、児童それぞれが身近な自然や環境について、あらためて見つめ直すことができたのではないかと思います。感想文を読んで、総合的学習を支援することができてよかったと思ったのと同時に、北川や北山公園の自然環境の保全を、未来にわたって継承していかななくてはならないと強く思いました。

報告 生物多様性事業連絡会に参加しました

2月28日狭山三公園（狭山公園、八国山緑地、東大和公園）の生物多様性事業連絡会に参加しました。この連絡会は、各公園緑地で策定された生物多様性保全利用計画（八国山緑地は2016年に策定）の進捗状況等を基に意見交換を行うもので、主な市民活動団体や東京都、指定管理者（西武・狭山丘陵パートナーズ）が参加し、定期的に行われています。

今回も八国山緑地と東大和公園については、林床整備（草刈やもや分け）の進捗状況や動植物（哺乳



類、鳥類、爬虫類、昆虫類、植物) 調査結果の報告を受け、意見交換を行いました。八国山緑地では希少種の保全やアカマツの再生、高圧線敷の皆伐地の管理を中心に意見交換を行いました。狭山公園については、生物多様性保全利用計画が2019年に策定され、高木の間伐や下刈りが始まっています。また、各公園緑地で拡大しているナラ枯れ木の処理についても状況報告があり、意見交換が行われました。

■本の紹介

けやき出版「狭山丘陵を守った男 フィールドサイエンティスト廣井敏男の軌跡」 清水 淳著
1970年代から始まった、狭山丘陵の自然を守るための市民活動。その中心人物で、フィールドサイエンティスト・廣井敏男の「社会化された自然を守っていくことが重要」という環境思想に着目し、その思想の生成過程や思想の啓発、制度化の経緯を描いています。狭山丘陵の里山が保全されてきた大きな理由が描かれています。A5版99ページで本体価格1000円＋消費税。けやき出版のホームページからアマゾン経由で購入することができます。



2023年3月～5月中旬 活動スケジュール

☎ は ボランティア募集 の略、☎ は会員のみの略

性別、年齢、経験不問。HP、ブログ(検索:北川かつばの会)
または直接会員にお知らせください

コロナウイルス感染防止のため、変更、中止となることがあります。
「かつばブログ」等で最新の情報の入手をお願いいたします。

かつば総会

3/25(土) 15:40～18:00 中央公民館第2集会室(東村山駅東口徒歩2分)

定例川そうじ ☎

毎月第2土曜 9～11時

4/8、5/13(土) 集合:北山小正門前

北川いきものクラブ ☎

4/8、5/13(土) 13:00～15:00頃

北山公園親水広場付近で北川や北山公園で捕れた魚や外来生物を展

示するとともに、魚とりを楽しみます(雨天中止)。

カゴアミの設置や日光浴ワナの設置と点検 ☎

4/8、5/13(土) 13:00～14:00頃、北山公園しょうちゃん池集合(小雨決行)以上の他、不定期の点検作業あり(ブログ参照)

第1回夏まつり実行委員会

4/30(日) 16:00～17:30頃(中央公民館第5集会室)、今年の夏ま

つりの実施基本方針について検討します。

かっぱ定例会

4/8(土)16:00~17:30頃(中央公民館第5集会所)、6月頃までの活動について検討します。

ご寄付に深謝!

沙羅の会様、他2名様からいただきました。ありがとうございました。

北川かっぱの会刊行物

『未来の川へ・北川復元プラン』
北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価 1000 円
送料 82 円。新一般会員には無料贈呈

『北川流域マップ-未来の川へ-』
北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価 200 円

『八国山・北山公園の
生き物観察ガイド』
A2両面版の生き物ミニ図鑑と解説。観察会などイベントで無償配布。

『北川・八国山・北山公園
いきものマップ』
かっぱの会 20 周年記念発行。
北川・八国山・北山公園では、どこにどんな生き物が見られるか、環境ごとに誰もが普通に見られる種を主体に示したマップ。観察会などイベントで無償配布。A2両面版。

かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。

●会費 一般会員:年間 3000 円
支援会員:2年間で 2000 円
学生は2年間で 1000 円

「かっぱ通信」年5回をお送りします。

●問い合わせ・申込み先
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●会費振込先
〔郵便振替 00120-6-104476〕
〔りそな銀行東村山支店
(普)3605694〕

加入者名 北川かっぱの会

●かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いています。

●編集後記

今年の春、暖かですね。桜の開花の早いこと。桜ばかりでなくてほかの草木も急に咲きだした。温暖化と一言言ってもその対策は並々ならない。まして生物多様性の劣化はわかりにくいだけに対策は遅れがちだ。ザリガニ、アカミミガメなどの対策例は遅きにありだももっと広がることを望む。(遊星歯車)

●発行:北川かっぱの会
連絡アドレス CZT12221@nifty.ne.jp

